



ESPAセミナー第10回

重い障害のある人のコミュニケーションを考えるⅡ

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 日時 | 平成28年6月26日(日) 9:50~16:00 (受付 9:30~) |
|-----------|-------------------------------------|

| | |
|--------------|--|
| プログラム | |
| 10:00-12:20 | 重症心身障がい児・者の認知発達の評価と、発達段階に応じた療育的関わり 亀井 真由美 先生 ●東京都立東大和療育センター 臨床心理士 |
| 12:20-13:20 | お昼休み |
| 13:20-15:20 | 障害の重い人の行動の意味の理解とコミュニケーション 岡澤 慎一 先生 ●宇都宮大学教育学部 准教授 |
| 15:30-16:00 | 質疑応答 |

| | |
|------------|--------|
| 参加費 | 6,000円 |
|------------|--------|

| | |
|-----------|--|
| 会場 | 国立商協さくらホール (JR中央線国立駅徒歩2分) 東京都国立市 東 1-4-6 |
|-----------|--|



| | |
|-----------|--|
| 定員 | 70名 (テーマに関心のある方どなたでも) ※定員になり次第締めさせていただきます。 |
|-----------|--|

| | |
|--------------------|---|
| 主催 お問合せ | ESPA 有限責任事業組合 (エスパ有限責任事業組合) http://www.ac.auone-net.jp/~espa-llp/ E-mail espa-llp@ab.auone-net.jp |
|--------------------|---|

| | |
|--------------|----------------|
| お申し込み | 先着順 裏面をご覧ください。 |
|--------------|----------------|

- * 内容につきましては、やむを得ない事情で、変更する場合がございますことをあらかじめご了承ください。
- * 机がございませんので、クリップボードをお持ちください。
- * 16:20 より、ESPA メンバーと講師が希望者の方と一緒に、いろいろ語り合う茶話会 (ESPA と語ろう会) を予定しています。
お話などをもっと詳しく聞きたい、参加者やメンバーと話したいという方はぜひご参加ください。



📎 申し込み方法について

できる限りメールにてお申し込みください。✉

E-mail espa-llp@ab.auone-net.jp

- ① FAX の場合は、記入事項を明記し、送信票をつけずにこの用紙のまま、お一人 1 枚で、お申し込みください。
送付先は、FAX 03-5389-0891 新田宛
- ② 申し込みをされた方には、後ほど【受付番号】と詳細な通知をお送りいたします。
- ③ 申し込み期限は **6月13日（月）** といいたしますが、お早めのお手続きをお願いします。
- ④ 会場の都合上、申込者が予定人数に達しました段階で、お断りさせて頂くことがございます。

📎 記入事項はこちらです。

お名前、所属、職種、ご連絡先（時間などの指定もあれば）は必須でお願いいたします。

| 件名：ESPA セミナー第 10 回（6/26）の参加を申し込みます。 | | | | |
|-------------------------------------|------------------------|------------------|-------------|---|
| ①所属 | | ご 連 絡 先 | ④住所 〒 _____ | ⑧ESPA と語ろ う参加希望欄 ○をつける 希望します 希望しません |
| ②職種 | | | ⑤電話 | |
| ③ふりがな お名前 | （ ） | | ⑥FAX | |
| | | | ⑦E-mail | |
| ⑨講師へ の質問 | | | | |

一週間以内に返信が送られてこない場合には、FAX（03-5389-0891）または

E-mail espa-llp@ab.auone-net.jp までお問い合わせをお願いします。

🌸 🌸 🌸 今回のセミナー企画意図 🌸 🌸 🌸

< 企画意図と講師紹介 >

ESPAセミナーでは毎回、障害のある方達への支援について、参加される皆様とともに考えて参りました。今回は昨年に引き続き「重い障害のある人のコミュニケーションを考えるⅡ」と題し開催致します。

重い障害のある人達が安定した健康状態を維持するために、医療、看護の知識の普及や支援者のスキルアップ努力が、多方面でなされています。その上で日々の営みにおいて、一人一人の心の動きや感じ方、思いなどを、ご家族や支援者の皆さんが受け止め、言葉で、表情で、あるいは様々な生活活動で返していくことが、障害のある人達が豊かな生活を送る基本となることでしょう。

ときおり障害のある人の思いと支援者の思いがすれ違い、その場の環境調整や声掛けが「うまく」働かず、結果的に「問題行動」と言われる事態をおこす事があります。結果としての「問題行動」であることに支援者は気付くことが必要です。障害のある人の認知発達を知り、障害のある人が理解できる、実行できる関わりを常に考え、実践していくことが支援者に求められていると

言えるでしょう。午前の部では東大和療育センター臨床心理士の亀井真由美先生に、重い障害を持つ人の認知発達を中心にお話して頂きます。重症児者の認知発達の評価と、発達段階に応じた療育的関わりの実践についてお聞きできることでしょう。

午後の部では、昨年のセミナーで「もっとお話しを聞きたい」と受講生からの要望が多かった、宇都宮大学教育学部准教授岡澤慎一先生に再度お話し頂きます。特別支援教育に関わる教員養成の仕事とともに、大学院の頃から継続して重症児との教育的関わりについて、長年実践研究を重ねて来られました。重い障害のある子どもや成人の方々との相談活動に基づき、障害状況にある人とのやりとりやコミュニケーションのあり方、人やモノとの相互交渉の促進に関する長年の実践研究のお話は、支援者である私達に多くの示唆を与えて下さるでしょう。

お二人の講師のお話は、セミナーにご参加下さる皆様の明日からの業務に役立つことと存じます。多くの方々のご参加をお待ちしております。